

事務事業評価表

平成25年度【24年度事後評価】

会計名称	一般会計					
事務事業名	細々目02 校務用コンピュータ整備事業					
予算区分	款	10	教育費		所属	教育総務課
	項	01	教育総務費			
	目	03	教育振興費		連絡先	0594-24-1236
	細目	005	教育用コンピュータ整備事業費			

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	⇔ 下欄の対象指標	付記事項
市立小学校教職員		
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇔ 下欄の活動指標	
○小学校に校務用パソコンを配備し、校務の情報化を推進する。 ○グループウェアにより配備したパソコンのネットワークを構築する。 ・校務データの一元管理 ・事務の効率化 ・情報漏えいの防止		
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	⇔ 下欄の成果指標	
校務のスリム化、効率化を図るとともに、個人情報の漏えい防止を図る。		

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	22年度	23年度	24年度	25年度当初	
対象指標	小学校教職員数	人	-	-	502	502	
活動指標	校務用コンピューター配備台数	台	-	-	435	435	
成果指標	校務用コンピューター配備率	%	目標値	-	-	100.0	86.7
			実績値	-	-	86.7	
	個人情報の漏えい件数	件	目標値	-	-	0	0
			実績値	-	-	0	
投入コスト	事業費計			0	0	3,931	18,959
	財源内訳	国支出金	千円				
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源		0	0	3,931	18,959
所要人員 (正職員・嘱託)		人工	0.00	0.00	0.17		

進捗評価

(事務事業の成果とその向上余地について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- 計画どおり
- 概ね計画どおり
- 停滞

成果向上の可能性はあるか。

- ある
- あまりない
- ない

一人一台の状況には至っていないが、概ね各校教職員に配備できた。
 今後は、校務の効率化や情報セキュリティの確立に向けた取り組みを進める必要がある。